

7 仕様

型 番	AEE690174						
入 力	AC100V 50/60Hz						
調光信号出力	12V PWM信号250mA 無極性						
信号制御調光器 への接続台数	連続調光用 器具	ランプフレックス 連続調光タイプ		FHT32W	FHT42W	LDL40W	
		1灯用	2灯用	1灯用	1灯用	1灯用	2灯用
	インバーター数	1	1	1	1	1 (LED電源数)	1 (LED電源数)
	AEE690174	29台	15台	38台	30台	50台	26台
配 線 長	調光信号線100m以内						
使 用 場 所	屋内(ただし、水・水蒸気・直射日光の当たらない所)						
使 用 温 度	0～35℃						
使 用 湿 度	85%以下 結露しないこと						

※上表の接続台数は、スイッチから器具電源をとるスイッチ容量の制限による接続可能台数と信号制御調光器の最大取付台数50台(LED電源は100台)のどちらか少ない方の接続台数を掲載しています。

接続台数は、 $\frac{15A(\text{スイッチ容量})}{\text{インバーター(LED電源)入力電流} \times \text{インバーター台数}}$ と $\frac{50\text{台}}{\text{インバーター台数}}$ (LEDの場合 $\frac{100\text{台}}{\text{LED電源}}$) のどちらか少ない台数

8 点 検

- 施工後、動作に異常がある場合は、次の点検を行なってください。

異 常 内 容	確 認 事 項	対 処 方 法
照明が点灯しない	調光器から照明器具への電源線の配線が正しく行われていますか？	電源線を結線図のとおりに配線してください。
照明が調光しない (点灯状態)	調光器から照明器具への調光信号線の配線が正しく行われていますか？	調光信号線を結線図のとおりに配線してください。
	調光器から照明器具への調光信号線が短絡していませんか？	調光信号線を結線図のとおりに直してください。

- 上記確認をした後になお異常がある場合には、ただちに電源を切って、下記のカスタマーサービスに相談してください。

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話



0570-055123

受付時間：9:00～17:30

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX 072-986-5036

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号)

電話



0570-015123

FAX



0570-025123

受付時間：9:00～17:30

※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

- ナビダイヤルにかからない場合は、お客様相談室 ☎072-986-5081にお電話願います。
- ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2011年07月現在)

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪府中央区備後町3-3-7

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工 取扱説明書

PWM信号制御用調光器

このたびはコイズミ照明制御器信号制御用調光器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。お使いの前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

型番

AEE690174

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結び付くもの
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付くもの

- お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、いつでも見られる場所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、また、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

 警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で据付工事をされ、不備があると、感電・火災などの原因になります。	据付工事は、この取扱説明書に従い確実に行なう。 据付けに不備があると、感電・火災などの原因になります。
据付けは、重量に十分耐える所に確実に行なう。 強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および本説明書に従い施工する。 電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災などの原因になります。
改造・修理は絶対にしない。 改造したり修理に不備があると、感電・火災などの原因になります。 修理はお買い上げの販売店にご相談ください。	煙が出たり、変な臭いがしたら、すぐに電源を切る。 感電・火災などの原因になります。
本機の隙間や穴に金属類を差し込まない。 感電・火災などの原因になります。	指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。 差し込み不十分は、接触不良により、感電・火災などの原因になります。
本機を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない。 火災の原因になります。	本機の電源を入れたままお手入れをしない。 感電の原因になります。

 注意

信号線端子台に<AC100V>などの電源線を接続しない。 感電・火災の原因になることがあります。	表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 感電・火災の原因になることがあります。
可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。	乾燥不十分なクロス貼り、コンクリート面には据付けない。 絶縁不良やサビにより、感電・落下の原因になることがあります。
濡れた手でスイッチ、ボリュームを操作しない。 感電・故障の原因になることがあります。	当社指定調光用照明器具以外は使用しない。 器具が過熱して火災の原因になることがあります。
配線は張力がかからないように配線工事を行なう。 断線したり、発熱・火災の原因になることがあります。	本機の電源を入れたままランプを交換しない。 感電などの原因になることがあります。

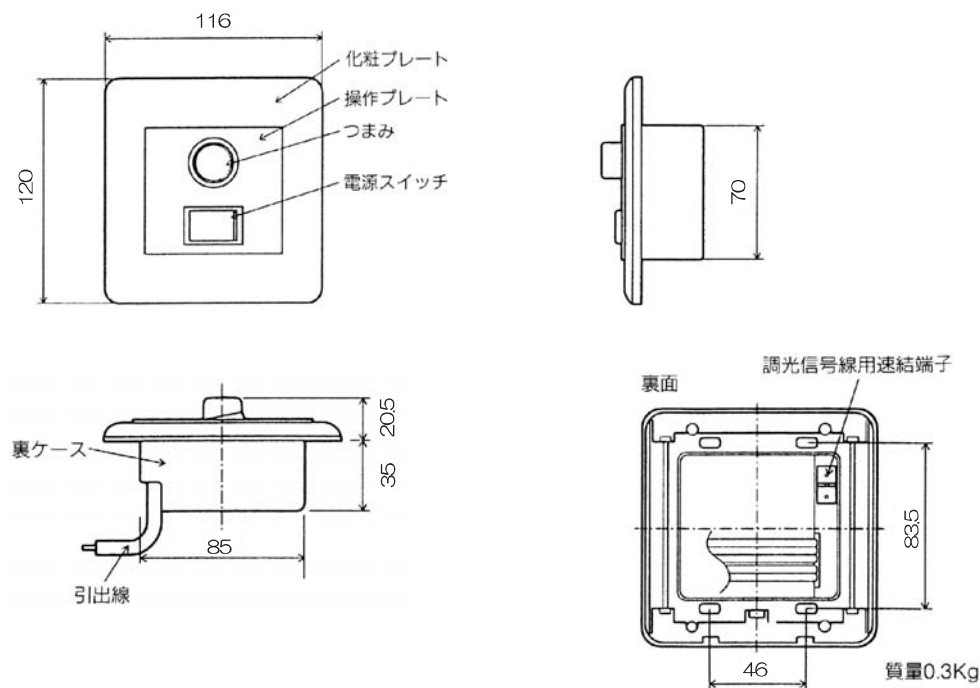
1 使用方法

- AEE690174(100V用)は、電源スイッチに3路スイッチを使用していますので、右側にたおして照明が点灯する場合は左側にたおすと照明が消灯になります。左側にたおして照明が点灯する場合は右側にたおすと照明が消灯になります。
- つまみをゆっくりと左右に回すことにより、お好みの明るさに調光することができます。
- 調光したままで、電源スイッチにより照明の点滅ができます。
- 照明を消灯する場合は、必ず電源スイッチを切ってください。

お願い

- 外観が汚れた場合は、化学ぞうきん・シンナー・洗剤などを使用しないで、やわらかな布で拭き取ってください。
- 調光器を、ストーブ・ガスコンロ付近の高温多湿の場所では使用しないでください。
- ご使用中、多少うなりが発生したり、つまみ・プレートが暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
- ラジオ・ステレオなどの音響装置付近で使用した場合、雑音障害が生じることがあります。その様な場合は、次の予防対策を行ってください。
 - ・ラジオ・ステレオなどの装置のアースを確実に行ってください。
 - ・ラジオ・ステレオなどの装置に有効なアンテナを張ってください。
 - ・本機とラジオ・ステレオ・アース線とを、1m以上離してください。

2 外形図



3 部品確認

- 箱の中には、この取扱説明書のほかに次の部品が入っていますのでご確認ください。

- 1.調光器本体……………1
- 2.化粧プレート……………1
- 3.プレート枠……………1

4 現地手配部品

- 据付けには以下のものが必要ですので、現地にて手配してください。

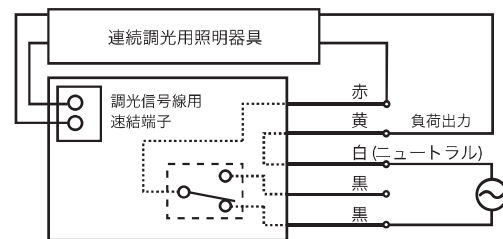
- | | |
|------------|--|
| 1.スイッチボックス | 2ヶ用スイッチボックスカバー付き (金属 JIS C8340 樹脂 JIS C8435) |
| 2.据付用ネジ | 十字穴付きナベネジ M4 4本 |
| 3.接続電線 | 電源線 VVF φ1.6 ~ φ2.0 - 2C |
| | 調光信号線 CPEV φ0.9 ~ φ1.2 - 1P |

※その他の取付金具を使用する場合には、別途手配ください。

5 結線図

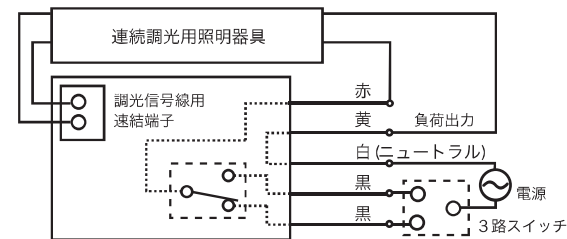
＜AEE690174配線図(100V用)＞

- 1ヶ所点滅の場合



※使用しない黒線は必ず絶縁処理してください

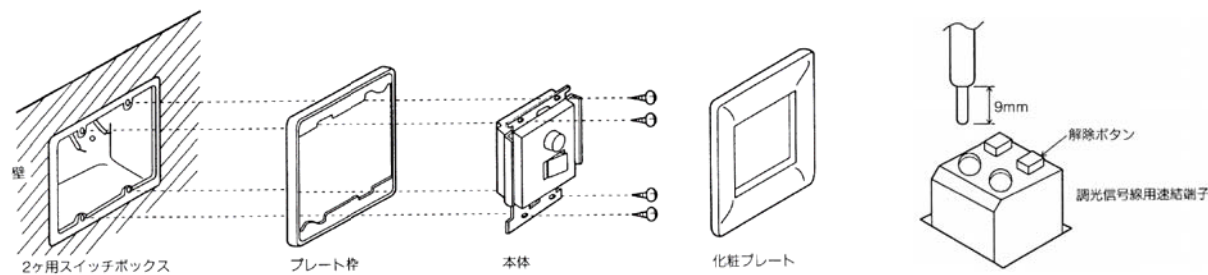
- 3路スイッチを使用して2ヶ所点滅の場合



6 据付方法

- 1.据付け条件

- 本機に接続できる照明器具は**15A以内**です。接続台数は「**7仕様**」を参照してください。
 - 各接続電線は、動力線・高圧線との近接や束線を行わないでください。また接続電線と動力線・高圧線が平行するときの間隔は下記に従ってください。
 - 600V以下の低圧電力線は300mm以上**
 - その他の高圧電力線は600mm以上**
 - 信号線の総配線長は**100m以内**で行ってください。
- 2.本体ゲージに合わせて、電源線は10mm、調光信号線は9mm被覆をむいてください。
 - 3.本体をプレート枠にはめ、壁に近づけてください。(プレート枠には表裏／上下があります。「上」表示を本体側にしてください)
 - 4.電源線と引出線を圧着などの方法で確実に結線してください。
 - AEE690174を1ヶ所点滅でご使用の場合は、あまった黒線を必ず絶縁処理してください。
 - 5.照明器具の調光信号入力端子からの調光信号線を本機の調光信号線用速結端子の電線穴に、芯線を確実に差し込んでください。(極性はありません)
 - 6.本機を2ヶ用スイッチボックスにネジで取付けてください。
 - 7.プレート枠に化粧プレートを取付けてください。
 - 8.調光信号線を外す場合は、調光信号線用速結端子の解除ボタンをドライバーなどで押しながら調光信号線を引き抜いてください。



⚠ 注意

本機の据付けや照明器具への配線作業は、本体の電源スイッチではなく、系統ブレーカーを遮断し行ってください。感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

電源線は、むき線部分が外に出ないように確実に差し込んでください。また、差し込んだ後には線を軽く引っ張り、十分に差し込まれていることを確認してください。差し込み不十分は、むき線部分が板金と接触し、感電・火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

AEE690174の電源配線で、本機の白線を電源のN(ニュートラル)に結線してください。感電の原因になることがあります。